

**第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」リハーサル大会
兼 第20回全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会
車いすバスケットボール競技実施要領（案）**

1 競技規則

令和2年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、同年度の一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟競技規則及びこの要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、コーチ1名、アシスタント・コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。ここでいうコーチとは、ゲーム中実際にチームを指揮する者を指す。
- (2) コーチ、アシスタント・コーチ又はマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手の数は、選手を兼ねるコーチ、アシスタント・コーチ、マネージャーを含めて12名以内とする。
- (3) 男女混合のチーム構成も可とする。
- (4) 女子プレイヤーがコート上でプレイできるのは2名までとし、女子プレイヤーがコートに入った場合、チームの持ち点合計に1名につき-1.5点を付加する。

3 競技方法

- (1) 試合は、鹿児島県チームを除くトーナメント方式で行い、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、鹿児島県チームを含む交流戦を実施する。
- (2) トーナメント戦のゲームは、10分のクォーターを4回行うものとし、第1クォーターと第2クォーターの間及び第3クォーターと第4クォーターの間にそれぞれ2分のインターバルをおく。第2クォーターと第3クォーターの間に10分のハーフ・タイムをおく。
- (3) 交流戦の試合時間は、10分のクォーターを2回行うものとし、第1クォーターと第2クォーターの間に2分のインターバルをおく。第2クォーターは、公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則の第4クォーターのルールを適用する。ただし、第2クォーター終了時に同点の場合は勝敗を決しない。
- (4) チーム・ベンチ後方の決められた席に、トレーナー1名を待機させることができる。トレーナーは事前に登録した者とする。

4 服装等

- (1) 出場選手は、濃色と淡色（白色）の2種類のユニフォーム（シャツ）を用意し、原則として組合せ番号の若いチームが淡色（白色）のユニフォーム（シャツ）を着用すること。ただし、2試合目以降については、両チームの協議により、ユニフォームの色の濃淡を変更することができる。

- (2) 背番号は、0, 00 及び1 から 99 までの番号を使用し、審判とスコアラーにはっきりと分かるように付けること。

5 試合球

試合球は、公益財団法人日本バスケットボール協会検定7号球（モルテンGL7X）とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、令和2年2月（予定）に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下、代理抽選を行い、決定する。

なお、前回大会で優勝したチームを第1シード、準優勝したチームを第2シードとする。

7 出場選手の持ち点の確認および競技用車いすの検査

出場選手は、大会当日に一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟発行の選手登録証及び持ち点カードにより、補装具等の確認を受けるとともに、競技用車いすの検査を受けること。持ち点について疑義が生じたときは、審査を行って持ち点を変更することがある。

8 チーム・ベンチ

チーム・ベンチは、組合せ表の番号が若いチームをオフィシャル・テーブルに向かって右側とする。

9 開始式・表彰式

開始式及び表彰式は、競技会場で行う。

10 その他

- (1) 開始式の前に監督会議を行う。なお、監督会議の時間及び場所は別途通知する。
- (2) 開始式、表彰式に参加する選手は、原則として、ユニフォーム（シャツ）又はジャージのいずれかを、チームで統一し着用し、競技用車いすで参加すること。
- (3) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (4) 会場内の秩序については、競技役員の指示に従うこと。
- (5) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (6) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。